



教員採用試験に非常に多くの学生が合格しました。合格した学生から後輩へのアドバイスを3面に掲載しています。前号で教育学部学生が地域の児童学習支援に関わっていることをお伝えしましたが、「英語力向上推進サポーター」として中学生の英語指導も行っています。4面をご覧ください。

宮崎国際大学教育学部ニュースレター

教育学部開学以来の高い教員採用試験現役合格率を達成しました!!

副学長・教育学部長 福田 亘博



教育学部ニュースレターは、毎年3号発行しています。11月号ではいつも教員採用試験結果を報告しています。下欄の白石学生教職支援センター長からの報告にもありますように、学生諸君の頑張りもあり平成26年度教育学部開学以来、最高の合格者数(合格率)という素晴らしい結果を出してくれました。

翻って見ると、現4年生は1、2年生の頃から7月に調査する授業外学習時間数は例年以上であり、また成績GPAの平均値も他学年及び例年以上の数値でした。また、学年全体の教員採用試験合格に向けた一体感も例年以上で、合格者数・合格率が最高となったのは、実は密かに予想し、公言し、期待していたものでした(一部学生はもう一息でしたが、来年度は間違いなく合格するでしょう)。また、卒業生も今回の教員採用試験で7名合格でした(宮崎県6名、熊本県1名)。学生諸君には、本当にご苦労様という言葉と同時に、卒業までに教員として不足する資質・素養等を確認し、強化してほしいと思います。

そのほか、小学校教員を目指す学生以外の小幼コースの学生についても、公務員や民間企業の内定を獲得するとともに、幼保コースの学生では認定こども園等への内定も順調です。次号では、就職決定率100%で、特に文部科学省が国立公立大学教育学部に報告を求めている重要な指標である

「教員就職率(<https://www.mic.ac.jp/course/education/shushoku>)」(昨年度の平均は57.6%)についても70%以上の達成とランキング入りについて報告できると思います。

来年度の教員採用試験では、新型コロナウイルスの影響が収束しつつあることから、二次試験では集団討論が復活すると予想しています。来年度の教員採用試験に向けて、現3年生を対象に、すでに学生教職支援センター主催の教員採用試験及び対策講座等のオリエンテーションも済みました。これらの対策講座等は、本学では、毎年の恒例行事となり、すでにスタートし、年々充実しています。

今後とも、本学が掲げる「礼節と勤労」の教育理念のもと、学生諸君が教員や公務員になりたいという希望が確実に達成できるように、教職員が一丸となって支援していきたいと思っております。皆様には相変わらずのご協力・ご支援をよろしくお願ひします。

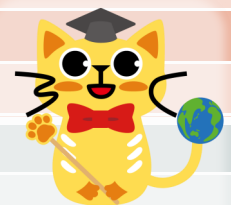
目次

開学以来の高い教員採用試験合格率を達成	1
公立学校採用試験合格発表	1
卒業した先輩からのメッセージ	2
就職内定	2
教育学部教員より	2
教員採用試験に合格した4年生から後輩へのアドバイス	3
こども音楽療育実習	3
英語力向上推進サポーター	4
保育実習 I aを終えて	4
広報部より	4

快挙!! 令和3年度公立学校教員採用選考二次(三次)試験合格発表 宮崎県公立小学校教員採用試験 合格率89%!!

1年次から目標に向かって、見事なチームワークで教員採用試験の勉強に取り組んできた4年生の結果が出ました。本年度の合格率は、宮崎県公立学校小学校教員採用試験では89%という高い結果でした。昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、教育実習や多くの行事の変更を余儀なくされ、延期になった実習がまだ残っている4年生もいますが、教員と学生、学生同士のチームワークで困難を乗り越えています。これから卒業までの半年間に、教師としての資質・能力向上を目指し、学生は「教職実践演習」やゼミ等に積極的に参加しています。(学生教職支援センター長 白石知子)

宮崎県小学校	教育学部 現役学生 16名合格	教育学部 卒業生 6名合格
熊本県小学校	教育学部 現役学生 1名合格	教育学部 卒業生 1名合格
大分県小学校	教育学部 現役学生 3名合格	
宮崎県中学校	国際教養学部 卒業生 1名合格 (英語)	
宮崎市公務員試験	教育学部 現役学生 2名合格 (一般行政職)	
都城市公務員試験	教育学部 現役学生 1名合格 (一般行政職)	
静岡県小山町公務員試験	教育学部 現役学生 1名合格 (保育士)	



宮崎国際大学マスコットキャラクター ミック

卒業した先輩からのメッセージ

後悔のない大学生活を送るために

都城市立五十市小学校教諭 奈須 郁加
(平成31年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、都城市立五十市小学校の5年生の学級担任をしています。4年生からの持ち上がりです。2年間続けて学級担任をしているので、子どもの学習面の成長はもちろんですが、日々の心の成長を誰よりも感じる事ができます。小学校教諭を目指しているみなさんに、是非この喜びと一緒に味わってほしいと思います。

私は、大学4年生の時に教員採用試験に不合格でした。一緒に勉強していた友達がみんな受かっているのに私だけ不合格でした。周りの友達が喜びを分かち合っている中、私だけ悔しさに押しつぶされ、ずっと苦しかったです。後輩のみなさんには同じ思いをしてほしくありません。合格のためには、友達と共に励まし合いながら勉強することも大切ですが、一方孤独との闘いでもあります。振り返ってみると、模擬授業の練習の場数を踏むことや、隙間時間を使ってでも教科書教材に全て目を通し、内容理解に徹するなどの努力が私にはできていませんでした。

皆さんはこれから採用試験まで時間がたくさんあると思います。学生時代にしかできないことを思いっきりやりつつ、勉学も自分の弱さの克服もできれば必ず合格できると思います。皆さんと一緒に働くことができることを楽しみにしています。

就職内定

自分のやりたい保育を叶える場との出会い

にじいろ保育園(東京都)内定 教育学部4年 小藤 綾乃
(宮崎県立宮崎南高等学校出身)



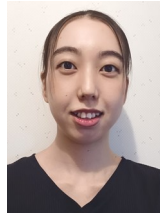
私は、にじいろ保育園から内定をもらいました。私が、この園を就職先に選んだ理由は、「暖かい“空間(いえ)”が人を育てる」という子育て事業コンセプトに魅力を感じたからです。実習や講義を通して、園が子どもたちにとって過ごしやすい環境であるためには、子どもたちが主体となつてのびのびと生活できる場や子どもとの信頼関係が重要だということを知りました。この学びから、私は温もりと優しさがあり、子どもたちに安心感を与えることができる保育者でありたいと思うようになり、この考えにあった園を探し、就職先を決めました。コロナ禍で、採用面接を県外に出て受けることが不安でしたが、学部長先生をはじめ、多くの先生方に背中を押していただき、万全の体制を整えて面接に挑むことができました。

今後は、保護者から信頼され子どもたちに安心感を与えられる保育者を目指して、常に肯定的な関わりや包容力のある関わりができるように自分を磨いていきたいと思っています。

子どもたちとともに成長できる日々を過ごして

幼保連携型認定こども園 いすず保育園保育教諭
小谷 麻美

(令和3年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、私を含め3名の保育教諭で2、3歳児クラスの担任をしています。実際に保育現場で仕事をすると、子どもとのかかわり方や保育の進め方など悩むこともたくさんあります。私が主となって保育を進めた週では、毎回反省会を開いていただいています。まだまだ改善点も多いですが、反省を生かして毎日頑張っています。

今、学生時代を振り返って、たくさんの手遊び歌を覚えておいたことがよかったと思っています。手遊び歌もいろいろあるので、子どもたちが知らない手遊びをするととても喜んでくれるし、注目を集めることもできます。また、たくさん絵本を読むこともおすすめです。内容や物語の長さなどを知っておくと、「〇歳児なら楽しめそう」「〇〇の活動の時に使えそう」など多くの場面で役立ちます。

学生の頃、私は実習や模擬保育でゲームやリズム遊びを多く実践してきました。しかし、どれも4、5歳児向きのものが多かったので、小さな子どもたちでも楽しめる遊びをもっと調べたりアレンジしたりできたらよかったと思います。

就職した今でも、先生方に指導をしていただきながら研鑽を積み、子どもたちと一緒に自分も成長していく日々です。後輩の皆さんに伝えたいことは、「失敗も成功への1歩」ととらえて学生時代にいろいろなことに挑戦してみたいということです。

教育学部教員より

幼児教育・保育の世界の探求

教育学部助教 山下 愛実



4月に着任しました。私の専門は幼児教育・保育です。「保育原理」や「保育者論」といった保育の基礎科目を中心に担当させていただきます。幼児教育のはじまりには、「子どもは小さな大人ではない」という考え方に立ち、子どもの特性に応じた教育の重要性を主張した多くの先人たちがいます。「日本の幼児教育の父」と言われる倉橋惣三(1882-1955)は、幼児期の教育について、次のような言葉を残しています。「我等の途」(『幼稚園雑草』より引用)

「教育は人情の発露である。人情だけでは教育は出来ない。研究がいる。設備がいる。方法がいる。しかしこれらは皆人情の土台の上に築かれるものである。これらのものがいかに完備しても人情の欠けた所に教育はない。我等の教育に常に潤沢な人情味を湛えしめよ。もっと大胆にあたりまえの人情を流露せしめよ。そこに始めて自分も生き子供も生きる。」

宮崎国際大学で保育者を目指す学生の皆さんには、さまざまな知識や技術を習得することに加えて、子どもが生み出す事象を共感的に感じとり、子どもにとっての意味を捉えることができる感性や多角的に物事を捉える力を養ってほしいと思います。幼児教育・保育の世界を共に探求していきましょう。

(担当科目：保育原理、保育者論、保育実習指導Ⅰなど)

学生企画

教員採用試験に合格した4年生から後輩へのアドバイス

教員採用試験に合格した4年生3名に2年生2名がインタビューしました。

1 一次・二次、それぞれの勉強法

【一次試験 人それぞれの勉強法！】

試験の分野ごとに、使う参考書や教材を変えて勉強していたそうです。先輩から聞いた勉強方法を生かし、教員採用試験対策講座でもらった資料などを自分なりにまとめ、それを繰り返し勉強することで内容の定着を図っていたということでした。

【二次試験 4～5人のグループで協力】

模擬授業対策は、4～5人のグループをつくり、教材研究を中心に、協力して取り組んでいたそうです。

後悔していることは、一次試験が終わった後に燃え尽きて、二次試験の内容がはっきりするまで何をしているかわからない時期があったことだそうです。

一人一人が自分に合った勉強法で、お互いに協力しながら学習をしていました。そのようなみんなで頑張ろうという意識が、高い合格率に表れたのではないかと感じます。

2モチベーションを保つために

【自分の頑張れる理由を探す】

- ・ To do リストの作成(達成できたら青で、できなかったら赤で線を引く)。
- ・ 早めにやっておくことで心に余裕ができる。
- ・ 友達や先生方と話すことで気分をリセットすることができる。
- ・ 合格したときに報告したい人がいる！というのもモチベーションアップになる。

話を聞く中で、仲間や先生と悩みの相談や何気ない会話をしたり、最後に合格の報告をしたい人がいたりすることは、モチベーションを保つために大きな力になっているような気がしました。

3 合格した今、思うこと

【嬉しさと同時に責任感と焦りを感じた】

合格が発表された日から、教壇に立つまでのカウントダウンが始まります。発表後はこのことを自覚し、教師としての責任感、あと半年しかないという焦りを感じたそうです。

半年後を見据え、現状に満足することなく学び続けている先輩方は、とても大きく見えました。

4 後輩に向けて

【やるしかない】

すべての受験を終え、「後輩に伝えたいこと」が大きく3つ挙げられました。

- ・ 教師になりたい、教壇に立ちたいと思うなら、勉強としっかり向き合うこと。
- ・ 教員採用試験は長期戦。忍耐力や長期間を見通した取り組み方が大切。
- ・ 仲間の存在は大きい。周りとの関わりを大切に。

多くの不安や葛藤を乗り越えた先輩だからこそこの言葉だと思います。私たち後輩も、先輩方の後に続けるよう、努力していきたいです。



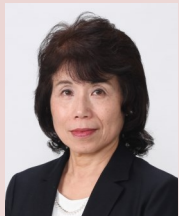
後列左から教育学部3年 青木慎吾(宮崎県立延岡高等学校出身)、前田海希(鹿児島県立大島高等学校出身)

前列左から教育学部4年 佐藤美月(宮崎県立宮崎南高等学校出身)、安藤夏奈(宮崎県立都城西高等学校出身)、新名晃士(宮崎県立日向高等学校出身)

こども音楽療育実習

音楽を通して学ぶこども音楽療育の実習

教育学部准教授 日高 まり子



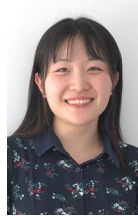
本学では、2018年度より一般財団法人全国大学実務教育協会認定「こども音楽療育士」の資格取得が可能になりました。こども音楽療育は心身に障がいのある子どもたちの発達を音楽の力を使って援助するものです。心身の発達と音楽的

発達に関する理論、障がいの種類に応じた音楽療育の具体的方法、例えば、楽器の使い方などを学びます。これらの学びは、保育や学校現場において音楽遊びや授業を通じた心身の発達の支援をしたり、年齢や発達度合いに応じた音楽による働きかけでコミュニケーションを図る際に役立つものです。

こども音楽療育実習で、学生は宮崎学園短期大学こども音楽教育センターで行われている音楽療法に実習生として参加します。また、宮崎県立みなみのかぜ支援学校、宮崎県立清武せいりゅう支援学校における学外実習も行われます。障がいのある子どもたちとの実際の交流を通して障がい児を理解し、更に、音や音楽を使った音楽療育の具体的実践方法を学んでいます。

音や音楽が子どもにもたらす効果

教育学部2年 山口 莉未紗
(宮崎県立宮崎西高等学校出身)

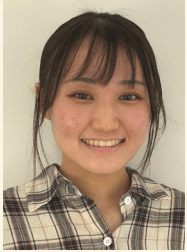


「こども音楽療育実習」では、「こども音楽療育概論」で学んだことをさらに身をもって体験できます。例えば、音や音楽を使うと子どもはどんな反応をするのか、音や音楽は子どもにどんな影響を与えているのか、自分の目で実際に確かめることができます。子どもによって動き方もバラバラなので、1秒1秒が新しい発見です。肢体不自由児は、体が思うように動かないけれど、音に反応して腕がぐんと伸びたり体をパタッと倒したりできるようになります。定型発達の子供たちは、音に合わせて活発に動き、自分を表現できるようになります。このように、音楽療育の積み重ねによって子どもの反応が変化していくところを、間近で見ることができます。

実習を通して、音や音楽は子どもたちにとって自分を表現したりコミュニケーションを図ったりする手段だということを知りました。子どもの変化をこの目で確かめることができるこの実習を糧として、こども音楽療育士の資格取得に全力で取り組みたいと思います。

今年度、西都市教育委員会から依頼があり、教育学部学生11名が「英語力向上推進サポーター」の受嘱をしました。学生は二人一組で、英検3、4級取得を目指す西都市内の中学生に対して、英検一次試験対策の講師を務めています。第1回講座ではzoomを使ったオンライン授業を行いました、その後は対面で実施しています。

中学生の英語力向上の力になりたい！



教育学部2年 黒木 真李
(宮崎日本大学高等学校出身)

私は今回、西都市の教育委員会から委嘱され、中学生の英語力を向上させる西都市英語力向上サポーターをしています。西都市の中学校に出向き、放課後の時間を利用して、英検3級の問題の解き方のコツや文法の説明などを、パワーポイントを使って行いました。

生徒によって英語の学力に差があり、教えるのが大変なこともありました。机間指導や個別指導で理解ができていない生徒のフォローをしたり、ポイントをまとめたプリントを作成して配付したりするなどの工夫をしました。私の説明で分かってもらえるか、英検の勉強が嫌にならないかなど不安はたくさんありましたが、生徒たちが「分かりやすかった」、「もっと長い時間やりたい」などと声をかけてくれて、とてもうれしかったです。

今回、サポーターをすることで私自身の英語力と指導力の向上に繋がったのではないかと感じています。

保育実習 I aを終えて

教育学部3年 日高 紗希
(宮崎県立宮崎北高等学校出身)



私は、今回の実習を通して子どもとの関わり方について多くのことを学ぶことができました。はじめは実習生の私を見て、戸惑ったり、様子をうかがったりする子どもがいて、どのように対応すべきか迷いましたが、私は無理に声を

掛けるのではなく、少しずつ様子を見ながら声を掛けたり、遊びを提案したりすることを意識しました。するとだんだん慣れてきたのか、「先生見て!」「先生!これ自分でつくったんだよ」と自分から話しかけてくれるようになり、とても嬉しかったです。このことから、子どもにはそれぞれ特性があり、保育者はそれを理解して、一人一人に合わせた援助や関わりを持つことが大切だと感じました。

子どもの発達段階には個人差がありますが、年齢ごとの発達段階をある程度理解しておく子どもとの関わり方や保育者としての適切な援助がしやすくなると感じました。

今後は、手遊びのレパートリーを増やしたり読み聞かせの練習をしたりして、子どもたちの興味・関心をもっと引き出すことができる保育者になりたいと思います。

入試広報部からのお知らせ

お問合せ先

TEL 0120-85-5931

MAIL admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp

LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことができない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



週末キャンパス見学会 & 相談会

詳細はこちらから↓

CONTENTS

10:00~12:00

- ◆学部説明
- ◆受験対策講座 (任意)
国際教養：英語面接対策
教育：小論文対策
- ◆入試相談 (任意)

大学について知りたい！オープンキャンパスまで待てない！という方のための週末見学会(要予約)です。

詳細は本学HPで！ ※予約状況によって人数を制限する場合があります。

第5回

12/4土

第6回

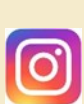
1/22土

第7回

2/19土

第8回

3/12土



YouTube



宮崎国際大学

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話：0985-85-5931

FAX：0985-84-3396

ホームページ：<http://www.mic.ac.jp>国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

宮崎国際大学